

道路づくりで活気溢れる “ふるさと島根”を創造

道路づくりで活気溢れる“ふるさと島根”を創造



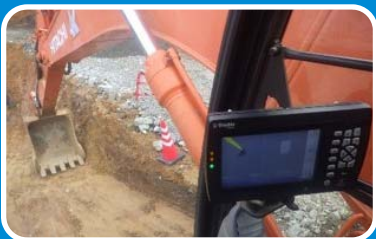
山陰道の整備促進 開通目標の確実な達成

- ・ 県内整備率R 3 ; 約 6 4 % ⇒ R 7 ; 約 8 3 % 目標



「山陰道の見える化」： 工事進捗状況の発信

- ・ 現場見学会、式典の実施やSNSを通じて、積極的に発信



「ICT活用 全国トップランナーへ」

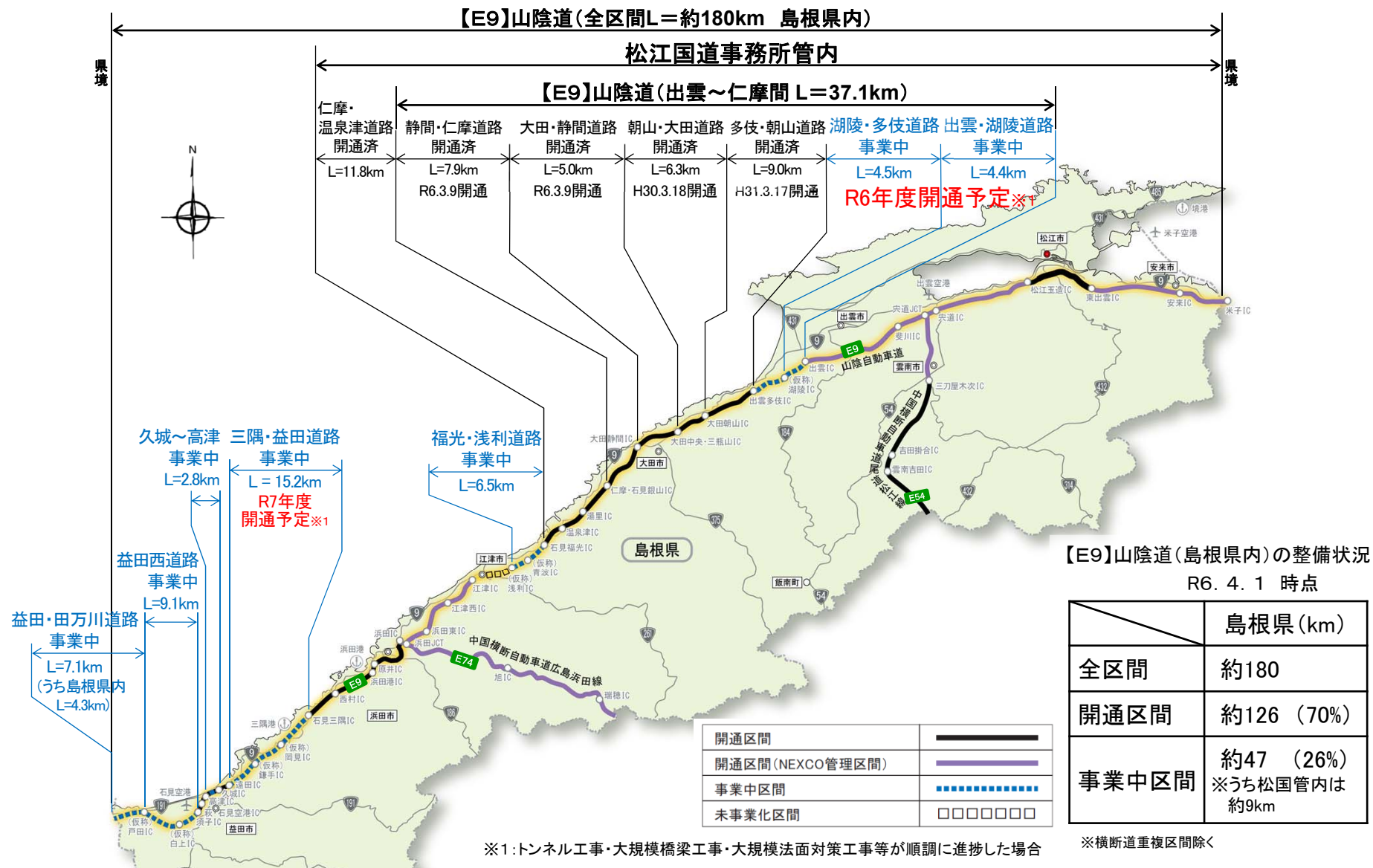
- ・ 山陰道の関連工事から管理系工事への展開
- ・ 自治体発注工事への普及



働く環境改善「週休2日宣言 山陰道」

- ・ 建設業界と一体となった担い手確保、環境整備の取組

- 県内の山陰道整備を促進
- 令和7年度までに、約83%整備を目標



E 9

山陰道の整備状況（R6.3現在）



区間 項目	静間・仁摩 道路	大田・静間 道路	朝山・大田 道路	多伎・朝山 道路	湖陵・多伎 道路	出雲・湖陵 道路
区間延長	7.9km	5.0km	6.3km	9.0km	4.5km	4.4km
事業化年度	H20年度	H24年度	H19年度	H18年度	H24年度	H20年度
開通年度 (目標公表)	R6.3.9	R6.3.9	H30.3.18	H31.3.17	R6年度(予定)	R6年度(予定)
事業進捗率 (R6.3末)	—	—	—	—	約85%	約89%
用地進捗率 (R6.3末)	—	—	—	—	100%	100%
全体事業費	—	—	—	—	約284億円	約398億円
R6事業費	—	—	—	—	約35億円	約39億円
R6年度 事業概要	—	—	—	—	舗装、 道路附属物工事	改良、舗装、 道路附属物工事

平成20年度に事業着手、令和6年度に開通予定（大規模法面対策工事が順調に進捗した場合）
令和6年度は、改良工、舗装工、道路附属物を推進

事業箇所図



出雲IC付近から西を望む

状況写真 R6年2月時点



至 松江
常楽寺第二高架橋付近



至 浜田
神西トンネル付近



至 松江
東神西第一高架橋付近

E9

山陰道

湖陵・多伎道路

令和6年度開通予定

平成24年度に事業着手、令和6年度に開通予定
令和6年度は、舗装工、道路附属物を推進

事業箇所図



状況写真 R6年2月時点



E 9 山陰道の見える化(工事状況の発信)

- 山陰道の工事進捗状況を現場見学会やSNS等を通じて発信
- 令和5年度は現場見学会21回実施、延べ約500人が参加



R5年7月25日 地元小学生現場見学会
【山陰道(静間・仁摩道路)工事現場】



事務所ロビーに進捗パネル掲示(毎月更新)

現場説明



重機乗車体験



日 時	2月8日 (月)	2月9日 (火)	2月10日 (水)	2月11日 (木)	2月12日 (金)	2月13日 (土)	2月14日 (日)
作業内容	・路床盛土工(ダンクを積み込んで土を敷き詰める)	・路床盛土工(ダンクを積み込んで土を敷き詰める)	・路床盛土工(ダンクを積み込んで土を敷き詰める)	・路床盛土工(ダンクを積み込んで土を敷き詰める)	・路床盛土工(ダンクを積み込んで土を敷き詰める)	・路床盛土工(ダンクを積み込んで土を敷き詰める)	・路床盛土工(ダンクを積み込んで土を敷き詰める)
作業時間	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00
参加費	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料
申込方法	現地にて申込	現地にて申込	現地にて申込	現地にて申込	現地にて申込	現地にて申込	現地にて申込
申込先	松江国道事務所	松江国道事務所	松江国道事務所	松江国道事務所	松江国道事務所	松江国道事務所	松江国道事務所

◆現場からの報告◆

東通市市道建設工事・自衛隊工員協働工事を行います
2月11日(木)は日替り作業を行いますので、ダンク運搬作業があります
現場は近所住民の迷惑にならないよう配慮しています
一部に作業員と作業用トラックの通行は必要となりますが、作業員はヘルメットを着用して作業しています
作業員はヘルメットを着用して作業しています
作業員はヘルメットを着用して作業しています

地元説明用チラシ(工事毎に配布)

E9 7.まっく DXの取り組み

- i-Constructionの一環として、山陰道のほぼ全ての工事(土工・舗装)でICT施工や点群データによる3次元施工管理を実施
- 松江国道事務所が取り組んだ内容としては、三刀屋拡幅や出雲バイパスの事業説明会において理解促進を図る目的で3次元データを活用

＜ICT施工の原則実施＞

＜3次元データによる事業進捗説明＞



ICT施工機械



3次元データを活用した事業の地元説明会

R5年度完成した工事は76件

うち ICT施工実施 37件

(ICT未実施工事は、橋梁補修工事、
附属物工事、保守工事など維持系)

BIM/CIM工事 8件で実施。



地元説明会で使用した道路の完成イメージ図

 国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省
松江国道事務所



↑ 建設現場に設置された快適トイレ

↑ 山陰道週休2日宣言チラシ

E9 山陰道の整備効果(災害等による影響の軽減)

- 令和3年8月の大雨により国道9号で地すべりが発生したことから、国道9号(出雲市多伎町小田)において全面通行止めを実施。
- 国道9号に並行して整備した山陰道(多伎・朝山道路)が迂回路として有効に機能し、地域の生活・物流等の経済活動確保に大きな効果を発揮。

国道9号の全面通行止めによる迂回状況

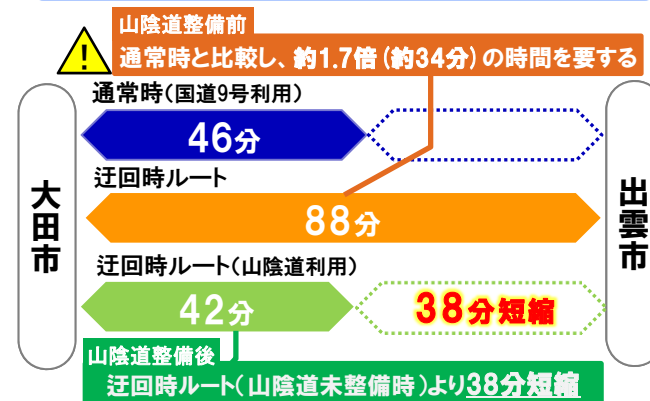


令和3年8月の大雨による地すべり

令和3年8月、大雨により、一般国道9号(出雲市多伎町内)で地すべりが発生。**全面通行止め**が発生し**迂回が必要**となった。



山陰道整備前後での出雲～大田間の迂回時間



※平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より算出。上記調査以降に開通した山陰道と未開通の山陰道は70km/hとして算出。迂回路については大型車が通行可能なルートを選定
○出雲～大田間: 渡橋北交差点(出雲)～和江漁港入口交差点(大田)

<道路利用者の声>



9号が通れなくなり、以前だったら遠回りして時間がかかっていたが、今は**山陰道があるから遠回りせず**に助かった。(R3.9 出雲市へのヒアリング結果)

E9 山陰道の整備効果(観光振興)

● 出雲空港からの60分圏域の拡大。周遊観光の促進

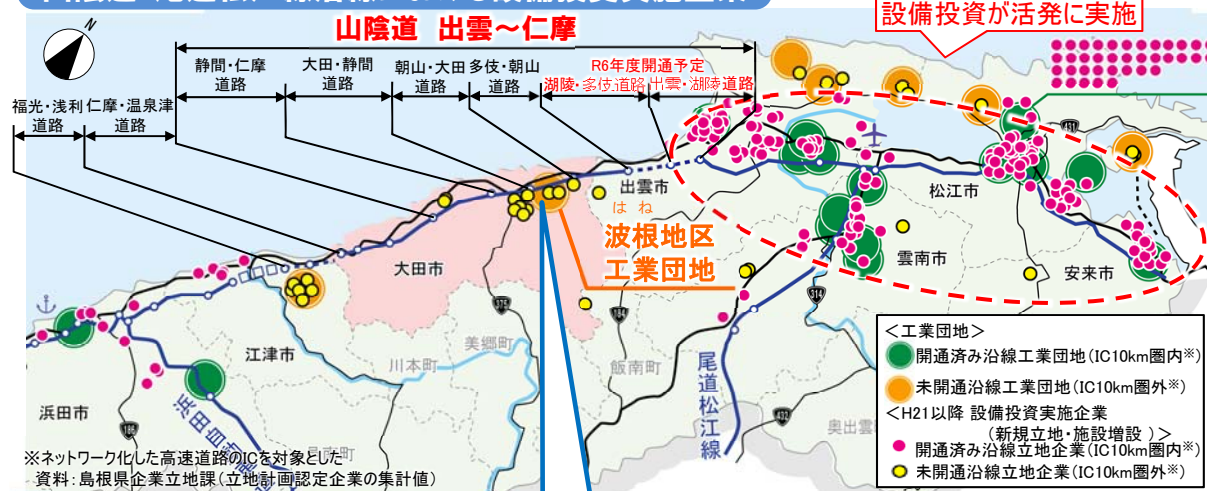
出雲空港60分カバー圏域



地域経済を支える企業進出支援(新規立地企業誘致の支援)

- 高速ネットワークの開通済区間沿線では企業による設備投資が行われ、新規雇用者数も着実に増加傾向。
- 大田市では、平成25年まで新規雇用者数が伸び悩んでいたが、平成25年6月の朝山・大田道路及び多伎・朝山道路の開通公表以降、増加に転じ、開通後に更に増加した。
- 出雲～仁摩間の残り区間の開通で山陰道が繋がることにより、更なる企業進出、新規雇用者数の増加が期待される。

山陰道・尾道松江線沿線における設備投資実施企業



波根地区工業団地の分譲状況



資料：島根県HP

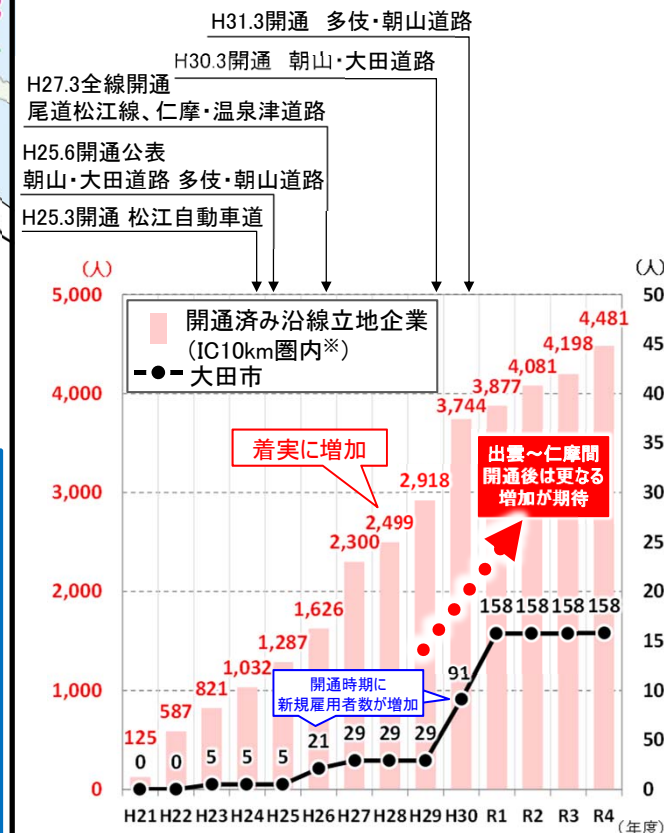
<地域の声>

- ・企業が新たな拠点進出を検討する際に、物流の利便性を求める傾向があり、高速道路が近いことが重要視されている。
- ・山陰道の整備により、東西の交通の利便性が向上され、**新たな企業が当市内へのさらなる進出だけでなく、市内企業の事業拡大による雇用人数の増加も期待される。**

(R3.6 大田市産業企画課へのヒアリング結果)



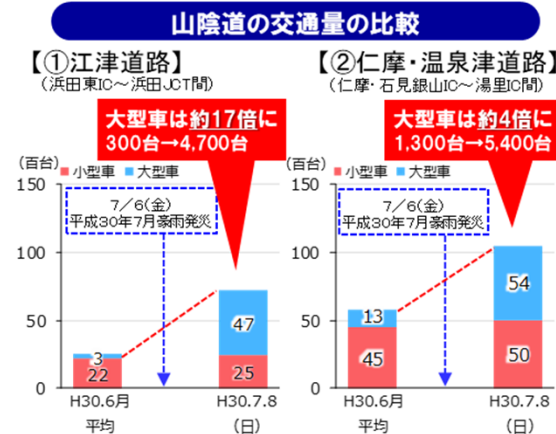
山陰道・尾道松江線沿線における新規雇用者数の推移(累積)



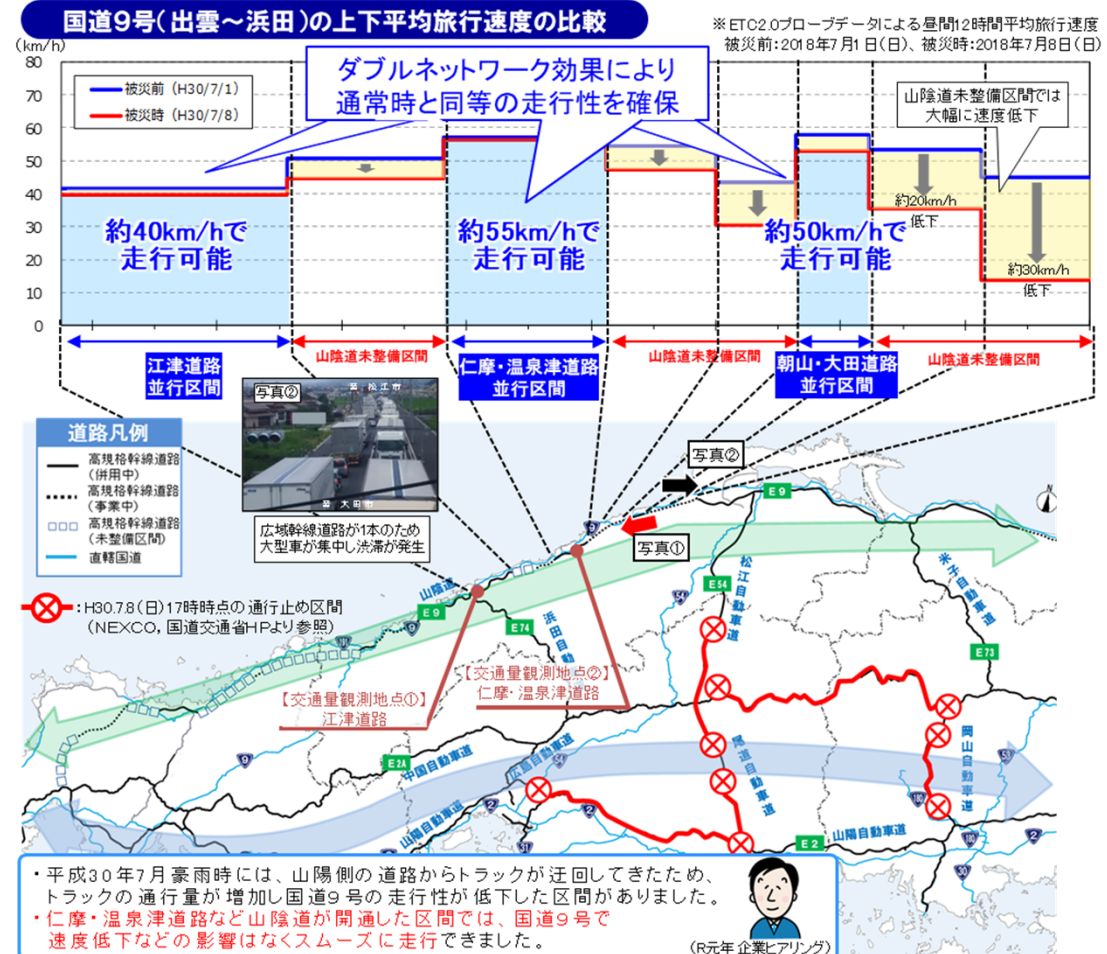
※ネットワーク化した高速道路のICを対象とした
資料：島根県企業立地課(立地計画認定企業の集計値)

E9 山陰道の整備効果(ダブルネットワークによる効果)

- 平成30年7月豪雨災害時に山陽道・中国道が通行止めとなり、広域交通が**山陰道・国道9号を迂回路として使用**。
- 国道9号では、交通量が増加し、速度低下も発生したが、**山陰道整備済み(ミッシングリンク解消)区間では、ダブルネットワーク効果により通常時と同等の走行性が確保**された。



山陰道の整備によるダブルネットワーク効果により通常時と同等の走行性を確保



[参考]災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築

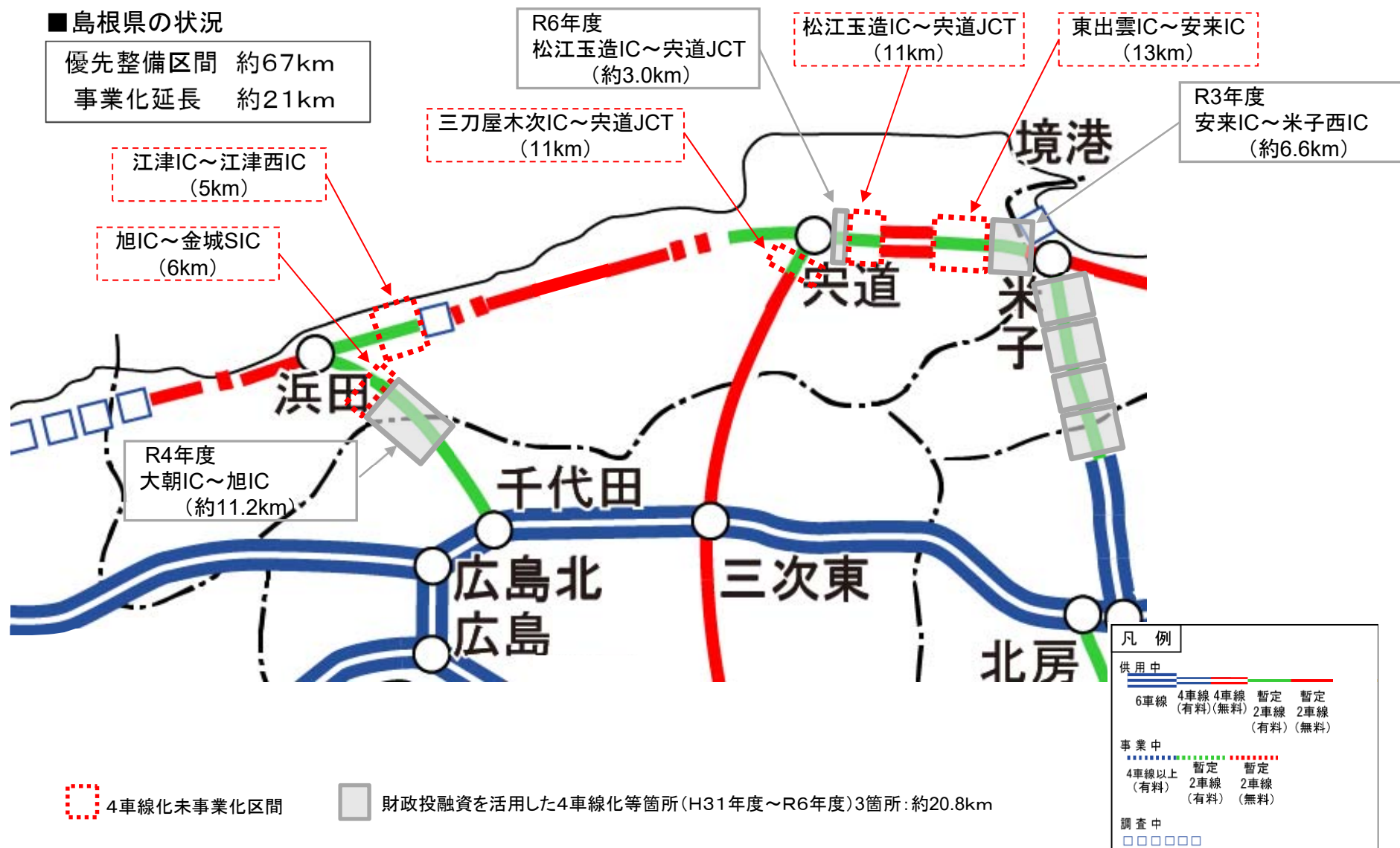
暫定2車線区間の4車線化

○中国地方では、有料暫定2車線区間 約196kmのうち、約58kmを事業化。

■島根県の状況

優先整備区間 約67km

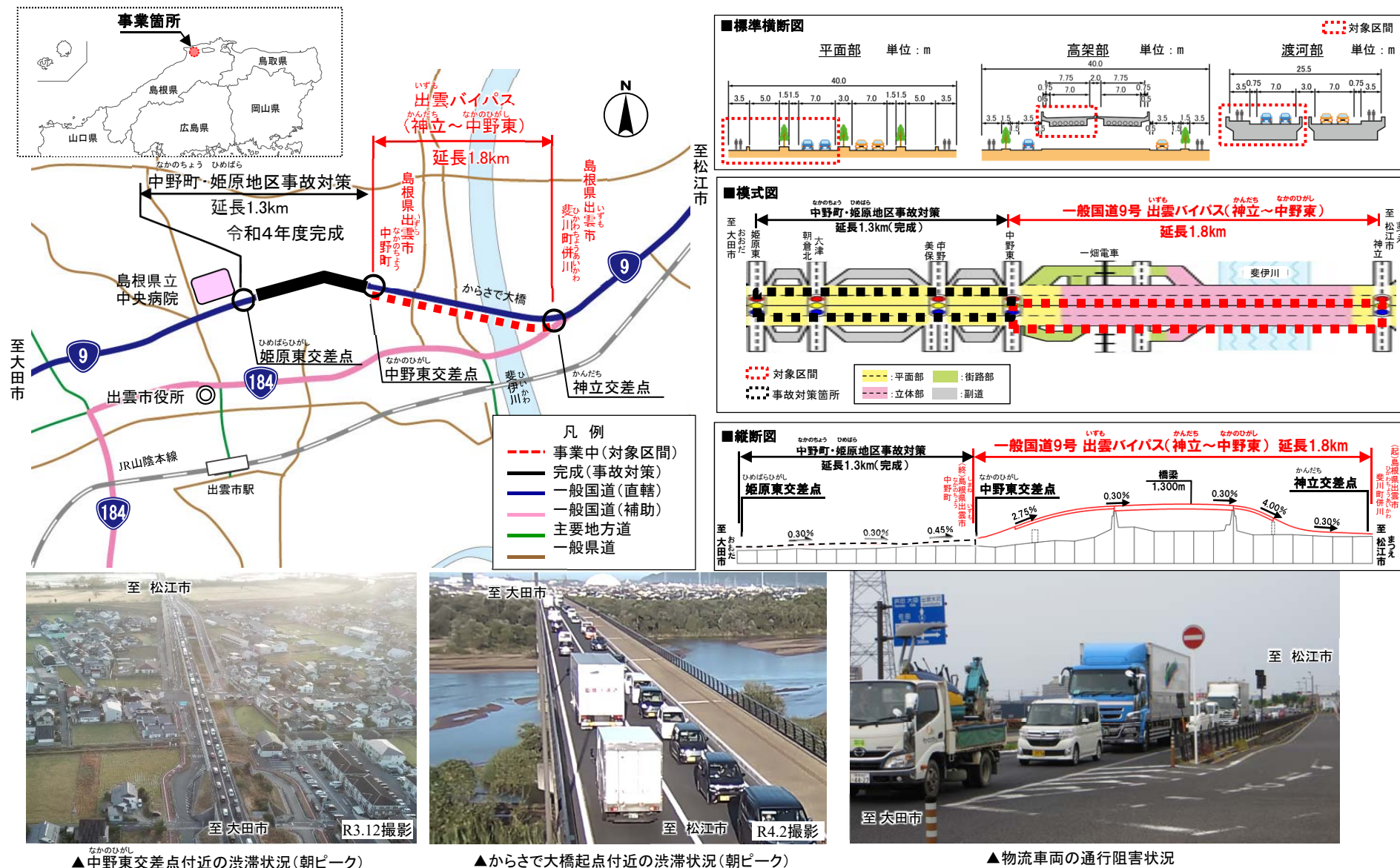
事業化延長 約21km



※R6.4.1時点

一般国道9号 出雲バイパス(神立～中野東)

出雲市街地中心部に位置する当該区間では、著しい交通混雑が発生し、地域産業活動や救急医療活動等に支障をきたしています。
出雲バイパス(神立～中野東)事業は、交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保を目的とした延長1.8kmの道路です。
令和6年度は、出雲市中野町～斐川町において地質調査、道路設計、橋梁予備設計、改良工事を推進します。



令和6年度は、雲南市三刀屋町三刀屋において用地買収、改良工事、舗装工事を推進します。

県道の通学状況

令和6年度 交通安全事業・電線共同溝事業

交通安全事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間における交通事故対策や、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる道路空間の確保を目的として交通安全事業を進めています。

令和6年度は、12箇所において、調査設計、用地買収、用地補償、工事を推進します。



【大田市温泉津町福光】
一般国道9号 福光交差点改良

電線共同溝事業概要

電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の保全、台風や地震時に電柱等の倒壊による道路の寸断を防止し、災害時におけるライフライン及び緊急輸送道路の安全性を確保することを目的として、電線共同溝事業を進めています。

令和6年度は、5箇所において、調査設計、本体工事、引込管路工事、連系管路工事、連系設備補償を推進します。



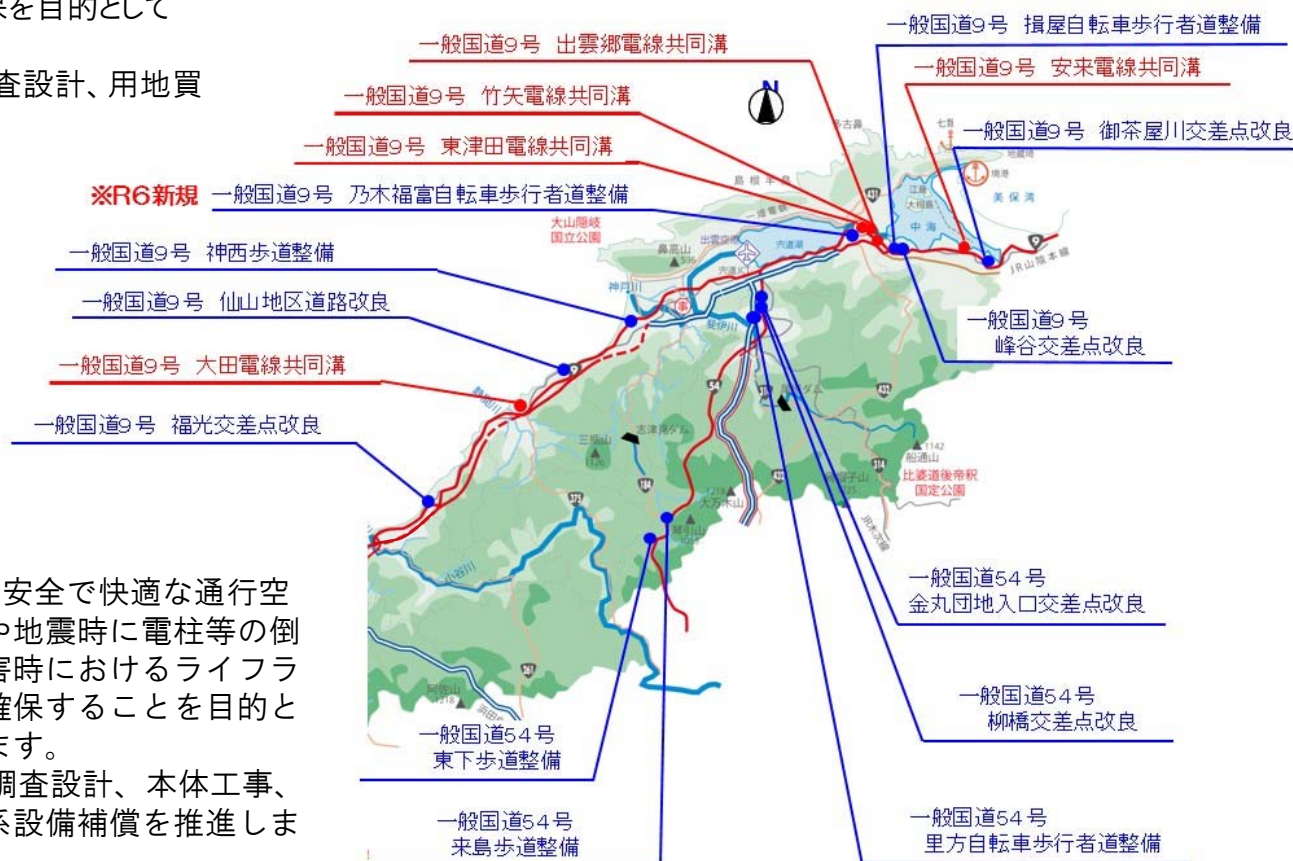
【現況】



【整備後イメージ】

一般国道9号 安来電線共同溝

R6 : 交通安全事業 514百万円
(当初) 電線共同溝事業 190百万円

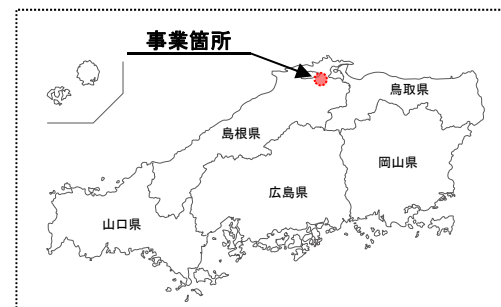


— 電線共同溝事業
— 交通安全事業

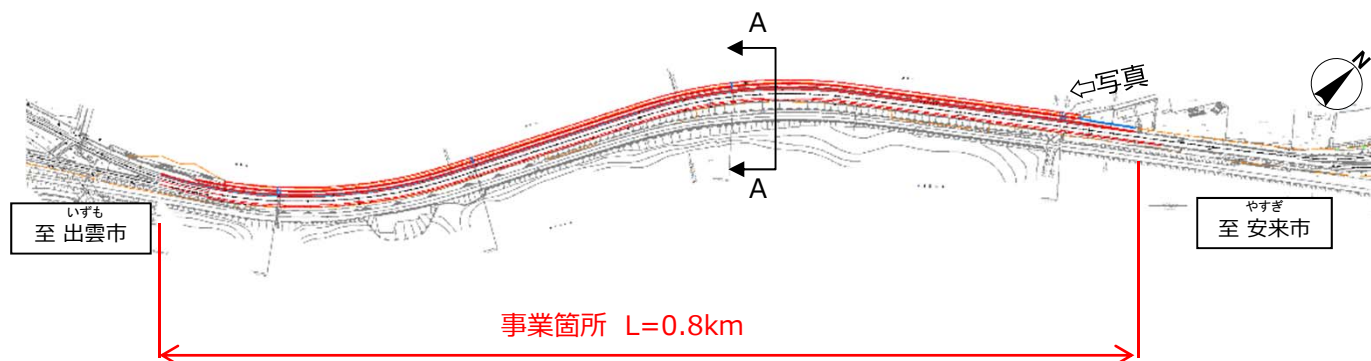
5箇所
12箇所

事業概要

当該箇所は、松江市内で唯一の歩道未整備区間である。歩行者や自転車の通工事には車両との接触事故の発生が懸念されることから、松江市玉湯町から松江市内への高等学校への多くの自転車通学者は、県道浜乃木湯町線へ大きく迂回をしている状況である。本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区感重点解消作戦)の対象区間として、自転車歩行者道整備を実施し、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。令和6年度は、調査設計を実施する予定である。



事業箇所図

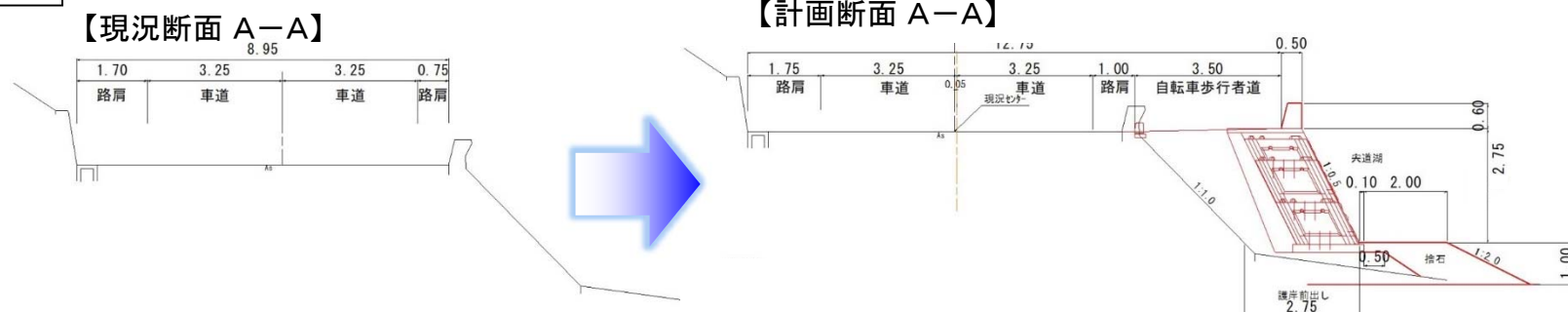


状況写真



写真:通行状況(未整備区間を走行する学生)

標準断面図

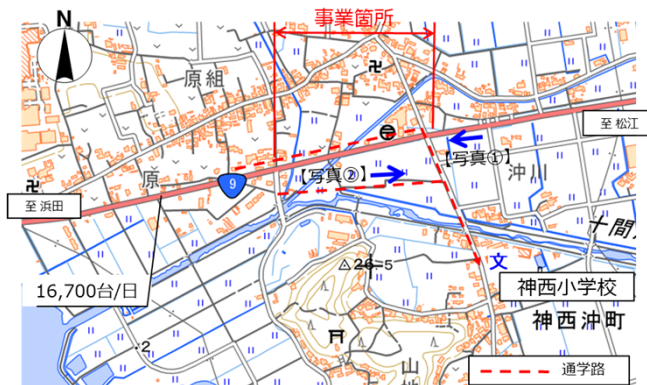


一般国道9号 じんざい 神西歩道整備事業

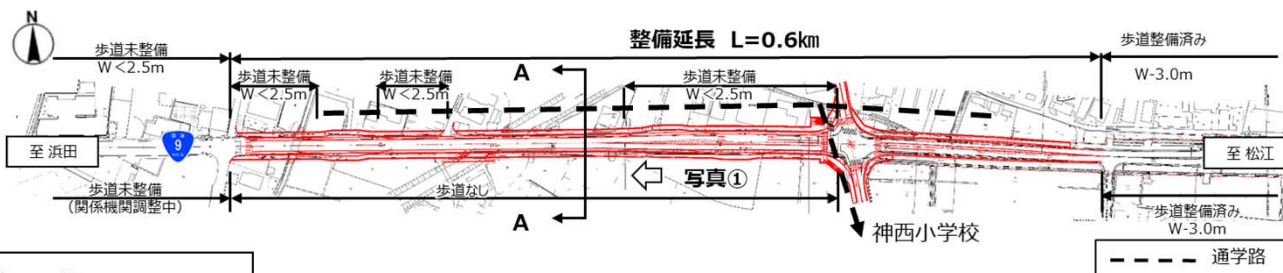
事業概要

当該箇所は、小学校が近傍に存在するが、国道9号南側歩道は狭隘で通学路として利用できず、地域内道路をやむなく通学路として利用している状況となっている。本事業で歩道整備を行う。
令和6年度は、調査設計を実施する予定である。

事業箇所図



写真①：神西小学校付近の通学状況

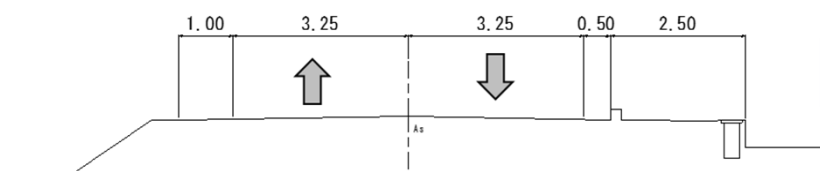


写真②：地域内道路を通学路としてやむなく利用

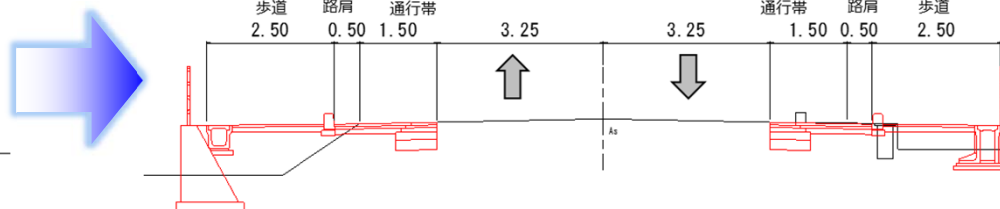
標準断面図

■ A-A断面

【現況断面図】



【計画断面図】



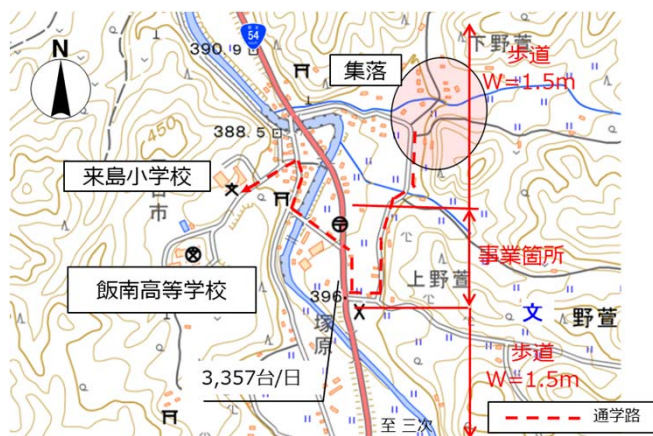
一般国道54号 来島歩道整備事業

事業概要

当該箇所は、来島小学校への通学路となっている。この事業区間内には地域の生活道路である町道との流出入が多い交差点があり、歩行者と車両が輻輳し、危険な状況となっている。

当該区間はやまなみ街道サイクリングルート(モデルルート)にも位置づけられており、歩道整備に合わせて自転車走行空間の整備も行う。
令和6年度は、調査設計を実施する予定である。

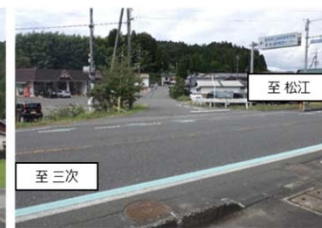
事業箇所図



状況写真



写真①: 下り方向



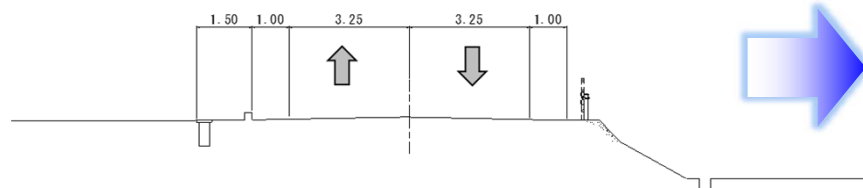
写真②: 交差点付近の状況



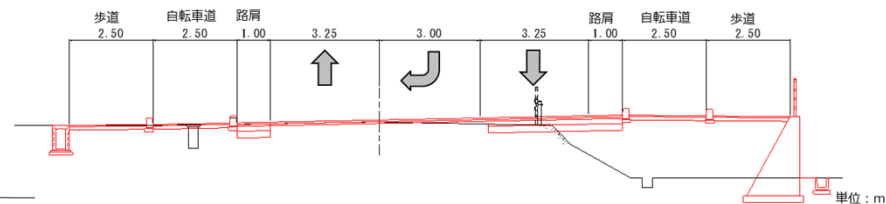
写真③: 通学路利用状況

標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



単位: m

一般国道 9号 福光交差点改良事業

ふくみつ

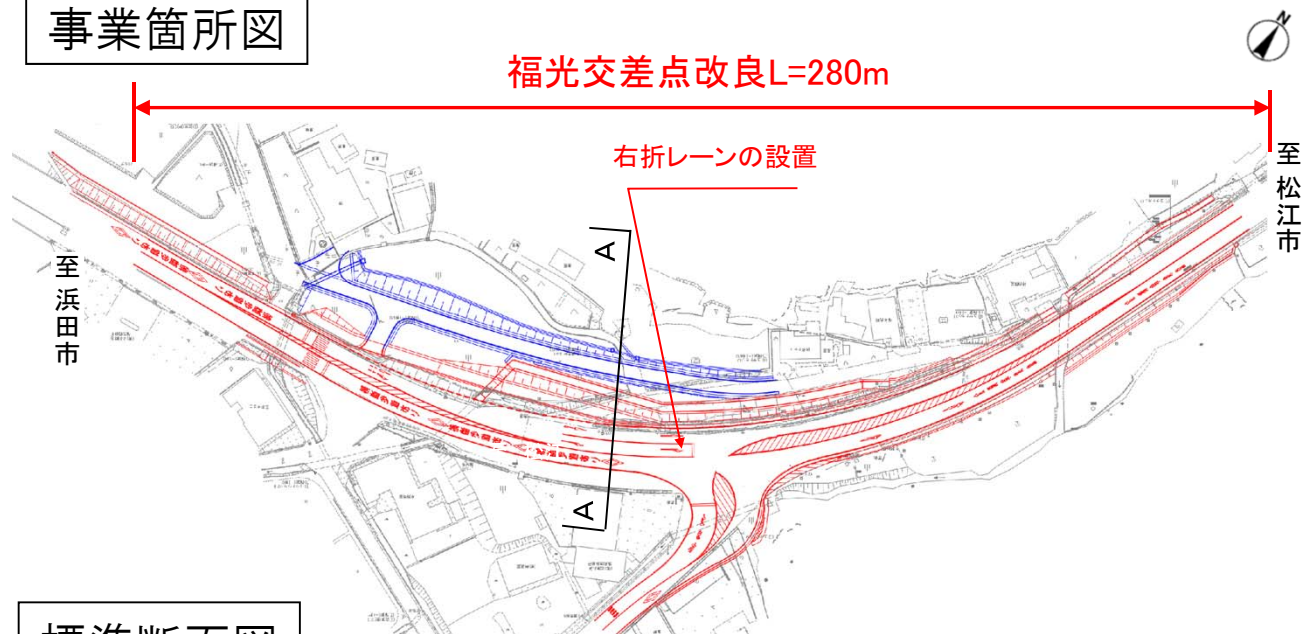
事業概要

当該箇所は、右折車線のない交差点であり、朝夕のピーク時を中心に右折待ち車両に伴う滞留が発生している。このため、交差点手前のカーブ区間での減速や停車により、追突事故が発生する危険な状態となっている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線の設置により、追突事故の解消を図るものである。

令和6年度は、調査設計及び工事を実施する予定である。

事業箇所図

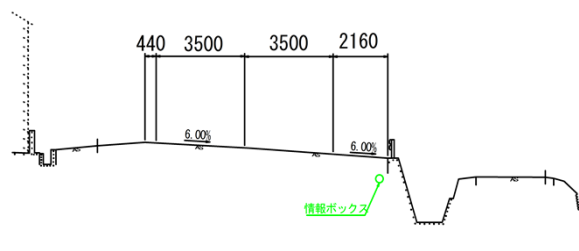


状況写真

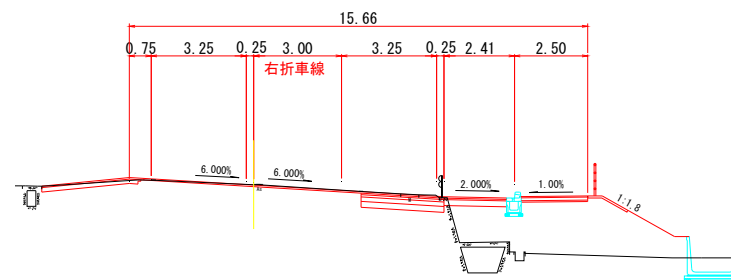


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 安来電線共同溝事業

事業概要

本事業箇所は、商業施設等が立ち並ぶ安来市の商業地域に位置するとともに、安来駅を中心としたあんしん歩行エリアに指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時等における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。

令和6年度は、調査設計及び工事等を実施する予定である。



安来電線共同溝

事業箇所図



状況写真



《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。

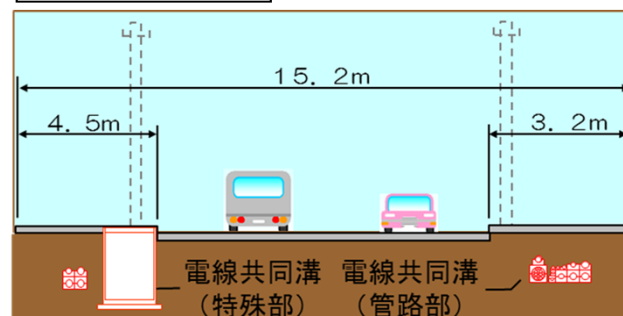


＜電柱の倒壊による道路閉塞の事例＞

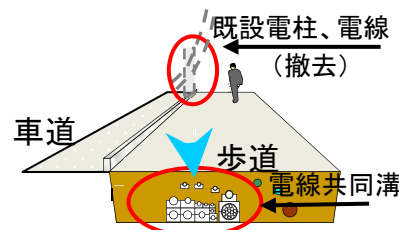


＜歩行の支障となる電柱の事例＞

標準断面図



《イメージ図》



・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の向上が期待されます。